



室戸

感動に出会うまち

室戸市勢要覧 2013

室戸市勢要覧 2013



●市花 はまゆう



●市木 ウバメガシ



●市鳥 メジロ



●市章

「ムロト」を図案化している。
△形はムを表わすとともに市の地形を表現し、更に太平洋に突出した鋭な室戸岬を。外側の円形は口を表わし、市の団結と円満を象徴。左右に出ているのはトを表わすとともに市の飛躍発展を表象。

■発行：高知県室戸市

〒781-7185高知県室戸市浮津25番地1

TEL.0887-22-1111 FAX.0887-22-1120

<http://www.city.muroto.kochi.jp>

■編集：室戸市企画財政課

■発行年月：平成25年3月

■制作・印刷：有限会社西村謄写堂



室戸市長 小松 幹 侍

ごあいさつ

室戸市は、高知県東部に位置するまちです。総面積は248.3平方キロメートルで、逆三角形を描いて太平洋に突出している半島です。

この突き出している室戸岬を挟んで、東側でダルマ朝日を、西側でダルマ夕日を眺めることができます。

市内には四国霊場八十八カ所のうち3つの札所があり、全国からたくさんのお遍路さんが訪れます。室戸市のあちこちには、弘法大師空海の修行地伝説が残っています。

また、20年以上前から海洋深層水を取水。飲料水や食品などさまざまな利用が広がっています。

さらに、室戸は豊富な食材に恵まれ、新鮮な魚介類やおいしい農産物が収穫されます。

さまざまな魅力をもつ室戸市では平成23年、室戸ジオパークが世界ジオパークに認定されました。室戸の地域資源を活用し、産業や観光の振興はもちろん、教育や防災、持続的な経済の発展につなげていきます。

室戸市は将来像を、「室戸の自然や資源を活かした産業の振興と、これまで育んできた歴史や文化を大切にし、健康で心豊かに安心して暮らせるまち」と定め、これからも市民の皆さんと協働して、一つでも多く自慢することができる室戸を目指します。

室戸市勢要覧 2013

C o n t e n t s

室戸のすべてがジオパーク	
〔室戸ジオパーク〕	3
〔水産業〕	5
〔農業〕〔製炭業〕	6
〔製造業〕〔工業〕	7
〔室戸海洋深層水〕	8
〔教育〕	9
〔福祉〕〔防災〕	10
〔空海伝説〕〔伝統文化〕	11
〔観光〕	12
資料	13
室戸市総合振興計画、沿革	14



室戸のすべてが

ジオパーク

- 室戸ジオパーク沿革
- 2008(平成20)年6月
室戸ジオパーク推進協議会を設立
 - 2008(平成20)年12月8日
日本ジオパークに認定される
 - 2011(平成23)年9月18日
世界ジオパークに認定される
 - 2012(平成24)年11月
第3回日本ジオパーク全国大会(室戸大会)を開催

ジオパークとは
ジオパークとは、地形や地質などの自然遺産のみならず文化や歴史などの文化遺産も含みます。そして、これらの遺産を保護だけでなく教育・研究・観光などに有機的に結びつけて活用すること、地域の持続的な発展につなげるのがジオパークの目的です。室戸市は、遺産の価値のみならず、住民参加によるジオパークを徹底的に活かした取り組みが高く評価されて、平成23年9月に「世界ジオパーク」の認定を受けました。

生まれたての大地

室戸半島は、海のプレートであるフィリピン海プレートの沈み込みによつて大地が地震をとまないながら隆起して形成されています。その隆起量は世界でも有数の速度で、室戸岬での研究によると1〜2m/千年です。室戸ジオパークの沖合140km先では、フィリピン海プレ



ートが沈み込んでいます。南海トラフの堆積物が次々に陸側に押しつけられて深海で大地が形成され続けられており、かつて海底にあった堆積物が陸地に現れています。

室戸ジオパークでは、自然環境や災害を受け入れながら海や山の恵みを受け取ってきた生き様を伝え

ています。その代表例として、吉良川の町並み、台地農業、そして大敷網や金目鯛漁、かつては近海で行われていた古式捕鯨などが挙げられます。また、このような遺産は、現在においても最先端の研究対象としての価値も高く、地質学・地理学・生物学・社会学などの研究者や学生が度々訪れる場所となっています。

生まれたての大地に出会ふ。

た第3回日本ジオパーク全国大会(室戸大会)では、市民による道路清掃や市民参加で運営されている室戸ジオパークに対し、参加者から高い評価を頂きました。

ジオパークを活かす市民

ジオパークは主体的な市民の活動によつて支えられています。世界ジオパークに認定される前から、市民によつてガイド団体が設立され、持続的な活動が展開されています。また、高知県立室戸高校ではジオパーク学が平成23年より選択制の科目として履修できるようになりました。平成24年11月に開催され

これからの室戸ジオパーク

今後、室戸ジオパークは経済への波及効果や地域活性化を課題として、拠点交流施設の整備や室戸市内の周遊観光の拡大に取り組むとともに、国内外のジオパークやジオパークを準備する地域と互いに連携しながら、室戸とジオパークの魅力の世界中に発信します。そして、室戸ジオパークの活動を通じた持続可能な社会づくりを目指します。



ジオパーク・ガイド

室戸ジオパークの中心となる室戸岬サイトでは、室戸ジオパークインフォメーションセンターが窓口となって、新たな観光資源をPRするべく熱心なガイドが行われています。現在、27〜68歳までの市民、46人がガイドとして登録しています。地元への愛情あふれる温かい解説が観光客に好評を博しています。



西山金時芋



農業

室戸市では、ビワ、ポンカン、文旦などの果樹をはじめ、西山台地の金時芋など、温暖な気候を利用した農作物の栽培が盛んです。
また、施設園芸も盛んで、近年では室戸海洋深層水を使ったナスなどの栽培も行われています。

○西山金時芋
鮮やかで、きれいな赤色が特徴で、他の芋と比べて味わいが豊かで甘くておいしいと評判です。



深層水なす栽培



○室戸海洋深層水なす
海洋深層水を根や葉に散布して栽培したナスで、主に羽根町と吉良川町のナス農家約40戸が栽培しています。



千両

○千両
赤い実が美しい、正月の縁起物として欠かせない切り枝。室戸市は高知県内でも有数の生産地です。

◆主な野菜・果実・花卉の出荷額

区分	ナス		キュウリ		ユズ		千両	
	出荷量(t)	販売額(万円)	出荷量(t)	販売額(万円)	出荷量(t)	販売額(万円)	出荷量(t)	販売額(万円)
平成21	2,707.0	672.4	517.0	126.6	502.6	103.6	59.4	69.1
平成22	2,352.8	637.3	412.0	111.4	625.9	114.4	51.1	65.6
平成23	2,336.2	568.7	387.0	87.2	448.3	82.9	51.4	75.6
平成24	2,319.3	642.7	324.0	100.7	438.8	81.1	56.7	102.2

水晶文旦他柑橘類の生産



○水晶文旦他柑橘類の生産
柑橘類の栽培の中でも水晶文旦は、吉良川町の戸梶清氏が昭和27(1952)年頃、晩王柑と土佐文旦との交配により育成したものです。

製炭業



土佐備長炭

日本三大備長炭の一つである土佐備長炭は、とても良質で、県内でも有数の産地となっております。
木炭は大きく分類すると、「白炭」と「黒炭」の2種に分けられ、白炭の60%以上が室戸市で製炭されています。明治末期より近隣の山に自然生育している馬目樫の原木を使って製炭し、土佐備長炭として大阪方面に出荷し、町は大きく栄えました。

◆土佐備長炭粗生産額

年度(平成)	生産量(t)	生産額(千円)
21	384	127,960
22	424	141,400
23	455	151,553

◆林業就業者数

年度(平成)	総数(人)	男(人)	女(人)
21	62	47	15
22	61	46	15
23	78	60	18

水産業



大敷網での水揚げ

かつて捕鯨で栄えた室戸市では、遠洋漁業、金目鯛漁と移り変わりながら、海の恵みを活かしたさまざまな漁業が行われてきました。
伝統的な漁法である定置網漁は現在も盛んで、市内の佐喜浜、椎名、三津、高岡、羽根において、サバ、ブリ、アジなどが水揚げされています。
また、これら豊かな海産物を活かした水産加工や、室戸海洋深層水を使ったスジアオノリの養殖など「つくり育てる漁業」にも取り組んでいます。



金目鯛の水揚げ



水産加工施設



スジアオノリの養殖

◆水揚げ総量と総額

年度(平成)	水揚げ量(t)	水揚げ額(千円)
21	17,120	8,867,504
22	14,531	6,560,586
23	13,092	6,406,240

◆漁業種別水揚げ量

年度(平成)	沿岸		近海		遠洋	
	水揚げ総量(t)	水揚げ総額(千円)	水揚げ総量(t)	水揚げ総額(千円)	水揚げ総量(t)	水揚げ総額(千円)
21	10,225	4,467,749	2,409	1,415,390	4,486	2,984,365
22	9,230	3,427,682	2,410	1,357,814	2,891	1,775,090
23	8,160	3,355,526	2,447	1,309,039	2,485	1,741,675
合計	27,615	11,250,957	7,266	4,082,243	9,862	6,501,130

◆魚種別水揚げ量

	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	魚種	水揚げ量(t)	魚種	水揚げ量(t)	魚種	水揚げ量(t)
第1位	めじか	1,788.8	めじか	3,047.0	さば	1,952.3
第2位	ぶり	1,324.0	ぶり	1,298.2	ぶり	1,570.5
第3位	あじ	814.0	さば	1,279.3	めじか	1,505.2



いきいき
100歳体操

福祉

室戸市では子育て支援として、幼児の医療費や多子世帯の保育料を無料化するとともに、保護者の交流や保育士を配置した相談の場を提供しています。

また、高齢者福祉として、「いきいき100歳体操」や「げんきクラブ」などの、介護予防教室の実施にも取り組んでいます。



子育てひろば



げんきクラブ

防災

室戸市では、近い将来に起こるとされる南海地震対策をはじめ、災害対策に力を入れて取り組んでいます。

これまでに防災倉庫やヘリポートを備えた防災公園を整備。現在、市内各所に津波避難路等の整備を進めています。

今後は、津波避難タワーの建設を進めるとともに、防災訓練や自主防災組織の育成に取り組み、防災意識のさらなる普及啓発に努めます。



防災公園



防災訓練



津波避難訓練

津波避難路



◆消防団の状況

団員数	車両・ポンプ配備状況						水利	
	消防ポンプ自動車	小型ポンプ付積載車	防災用積載車	多機能車	小型ポンプ(B-2級)	小型ポンプ(C-1級)	消火栓(公設)	防火水槽
283	10	5	8	1	14	10	564	176

(平成25年3月末)



国際交流
(田植え体験)

教育

室戸市内の各小・中・高校では、「確かな学力」「生きる力」を身につけるべく、豊かな人間性を育む教育の実践に努めています。

また、オーストラリアのポートリンカーン市と友好都市提携して、互いに生徒の派遣などを実施。ホームステイなどの貴重な体験教育を推進して、次世代の人材育成を実施しています。



海亀の放流



高校生実習風景

ジオパーク学



◆児童数の推移(保育)

年度(平成)	公立	市立	計
22	117	219	336
23	125	230	355
24	119	216	335

(4月1日現在(人))

◆児童数の推移(小学校)

年度(平成)	校数	学級数	児童総数(人)
22	8	48	556
23	8	49	514
24	8	48	498

(4月1日現在)

◆生徒数の推移(中学校)

年度(平成)	校数	学級数	児童総数(人)
22	6	27	328
23	5	25	318
24	5	21	279

(4月1日現在)

◆生徒数の推移(室戸高校)

年度(平成)	学級数		生徒総数(人)	
	全日制	定時制	全日制	定時制
22	8	4	242	18
23	7	4	206	20
24	6	4	191	16

(4月1日現在)



アクアファーム

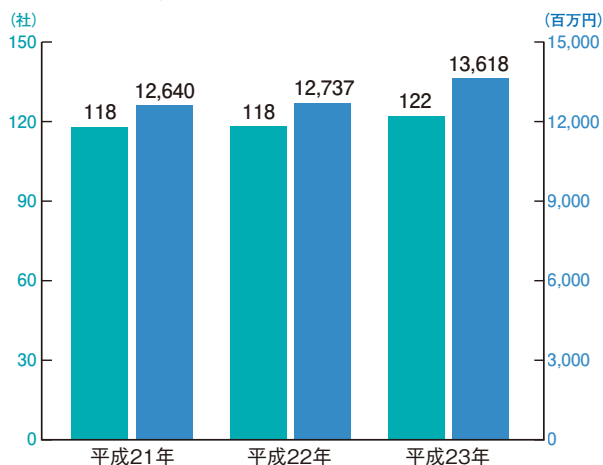


星野リゾート ウトコ オーバールージュ&スパ



室戸市ディープシーワールド

◆高知県の深層水関連企業数と商品売上の推移



深層水アワビ



室戸海洋深層水商品

室戸海洋深層水

可能性あふれる資源を日本で先駆けて研究・開発

室戸市は全国に先駆け、海洋深層水の取水・研究・商品開発に取り組んできました。海洋深層水とは水深200mよりも深い海にあり、長い年月をかけてゆっくり循環する水のことを指します。室戸岬の東側の沖合いには大陸棚がほとんどなく、急激に落ち込んでいます。この崖に沿って急角度で湧き上がってくる「湧昇流」をとらえて室戸海洋深層水は取水されます。海洋深層水は長期間、太陽

光線の届かない深海を移動しているため、浅い海にある表層水とは異なる次のような性質を持っています。

- チツソやリン、ケイ酸などのミネラル分が植物性プランクトンに消費されず、バランスよく含まれている。
- 有機物や微生物が少なく、清浄性に優れている。
- 年間通じて約9度(取水時は10〜12度と低温を保つ。
- 長い年月、高い水圧のもとにあり、熟成されている。

研究から商品開発、観光まで、深海の恵みを幅広く利用

室戸市では、平成元年に日本で初めてとなる海洋深層水研究施設が設立され、研究がスタートしました。研究の進展とともに商品化が進み、より多くの企業に室戸海洋深層水を供給するため、平成12年に日本初の給水ターミナル「室戸海洋深層水アクアファーム」を設立しました。1日4,000m³を取水し100社を超える企業に給水するとともに、室戸海洋深層水に関する紹介や商品の展示などを行っています。

平成18年には健康増進施設とリゾート施設を含めた「室戸市ディープシーワールド」が整備され、海洋深層水が観光や健康増進へ活用されております。

また、水産利用としてスジアオリやアワビ、海藻の養殖等が行われており、今後も様々な分野への活用が期待されております。

製造業

室戸市の地場産業として、室戸海洋深層水を使った飲料水や化粧品、食品などの深層水関連商品を主体として、地域の資源を活かした商品づくりが行われています。



・株式会社自然食品工業
マリンゴールド株式会社



・ダイドー・タケナカ
ピバレッジ株式会社



・室戸海洋深層水株式会社



・赤穂化成株式会社
深層水事務所



・室戸マリンフーズ株式会社



工業

かつて遠洋漁業で栄え、ここに根づく工業の特徴のひとつに、海洋に関連した船舶機械の製造があげられます。

また、型打鍛造品やローリング鍛造品を製造する工場もあり、室戸市の工業を支えています。



・株式会社泉井鐵工所



・株式会社廣瀬鉄工業



・株式会社山崎機械製作所
室戸工場



・株式会社富士鍛工
室戸工場

◆工業の概要

年度(平成)	区分	経営組織別事業所数 総数	従業者数			製造品出荷額等 総額(万円)
			常勤労働者 計(人)	個人事業主家族従業者数 計(人)	総数(人)	
20		27	424	16	440	1,818,576
21		25	403	16	419	1,092,556
22		25	417	12	429	1,283,148



イルカとの触れ合いが楽しめる体験施設

● 室戸ドルフィンセンター

観光

室戸ジオパークの世界ジオパーク認定による追い風を受け、観光施設の整備など、さらなる観光振興に取り組んでいます。

太平洋を一望できる中岡慎太郎像上の展望台、室戸ドルフィンセンターのプールやシャワー、更衣室を備えた事務所、さらに重要伝統的建造物群保存地区には、まちなみ拠点施設も新設し、さらなる交流人口の拡大に取り組んでいます。



● 恋人の聖地

室戸岬から太平洋を一望できる展望台



● キラメッセ室戸鯨館

骨格標本や模型によるクジラの生態、室戸の文化と歴史を紹介

● 室戸岬灯台

日本最大級のレンズを有する白亜の灯台



● 吉良川のまちなみ

古い町並みが残り、高知県で初めて国の重要伝統的建造物群保存地区に選定

◆観光入込客数

年(平成)	入込客数(人)
22	461,964
23	487,261
24	531,876

イベントカレンダー

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
● 恋人の聖地・室戸岬クリスマスイベント	● 室戸市産業祭	● 室戸岬健康マラソン ● 室戸岬灯台まつり	● 御田八幡宮秋祭り ● 佐喜浜八幡宮秋祭り		● ふるさと室戸まつり ● シットロト踊り(旧暦6月10日)	● 室戸の日	● 御田祭	● 室戸とんがり市	● 室戸春まつり	● 室戸2000本校祭り	● 室戸市春の観光びらき
											

空海伝説

室戸市には、最御崎寺、津照寺、金剛頂寺の三つの四国霊場があり、古来より多くの遍路が巡礼の旅を重ねてきました。

室戸は「若き弘法大師が修行し、悟りを開いた地」と言われ、「御厨人窟」や「行水の池」、「目洗いの池」、「一夜建立の岩屋」などの空海にまつわるスポットが数多くあります。



● 御厨人窟



● 四国霊場第26番札所 金剛頂寺



● 四国霊場第25番札所 津照寺

● 四国霊場第24番札所 最御崎寺



伝統文化

かつて古式捕鯨や遠洋漁業の基地として栄え、土佐備長炭の産地としても知られた室戸。いまでも多彩な文化が息づいており、ほかの地域では見られない個性的な祭事が行われています。

漁師たちが漁業ゆかりの約30カ所を訪ねて踊る「シットロト踊り」、「土佐漆喰と水切り瓦が並ぶ町並みを鮮やかな花台が巡る「御田八幡宮秋祭」、社会風刺を織り込んだユーモアあふれる寸劇」にわか」などの伝統が次世代に引き継がれています。



● 土佐室戸勇魚太鼓



● 御田八幡宮秋祭り



● 中川内の獅子舞



● 佐喜浜にわか

◆文化財

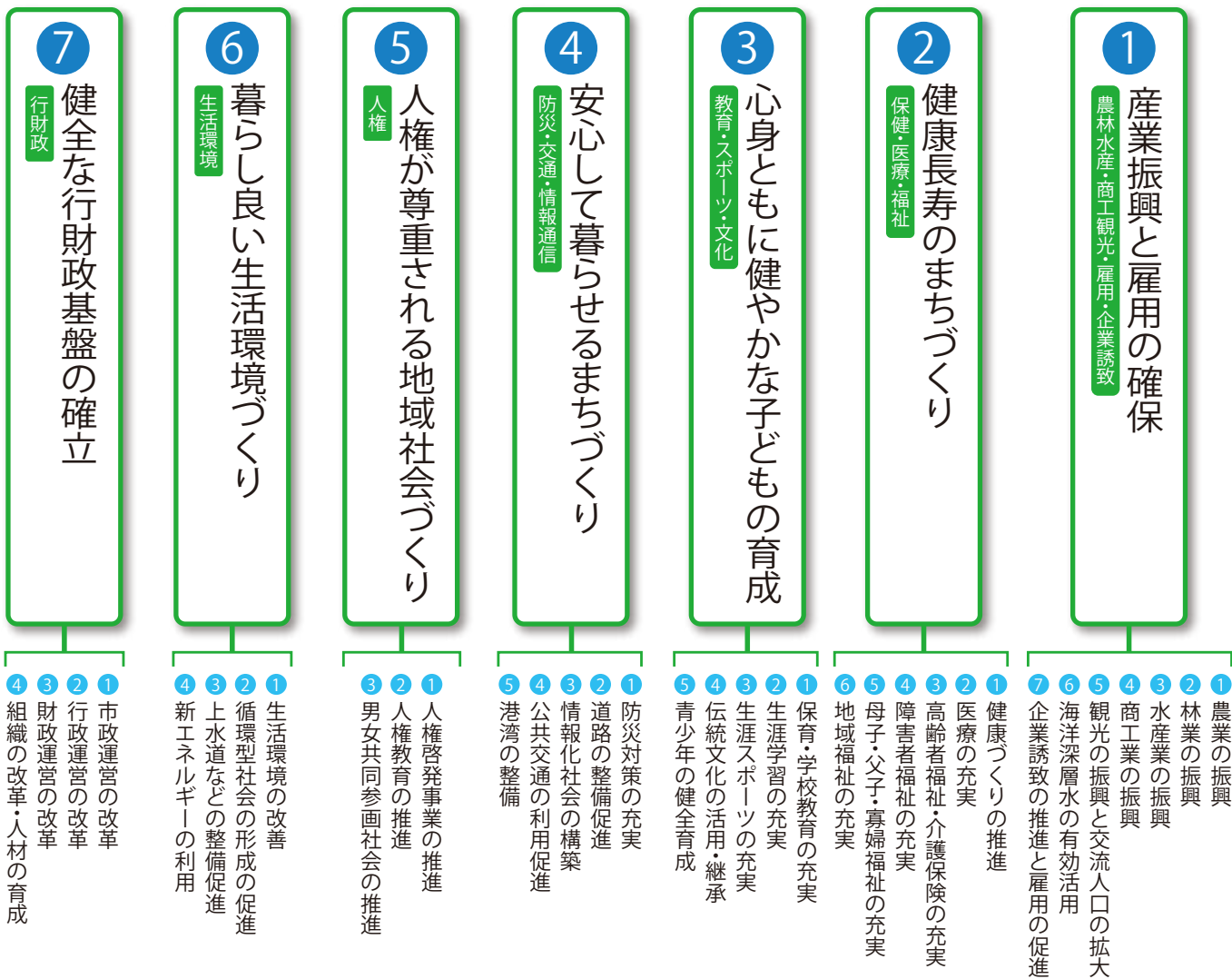
指定別	名 称	種別	指定年月	指定別	名 称	種別	指定年月
国指定	木造・薬師如来坐像	彫刻 重文	明 44.8	国指定	吉良川の御田祭	重要無形民俗	昭 52.5
国指定	木造・月光菩薩立像	彫刻 重文	昭 31.6	国指定	室戸市吉良川町伝統的建造物群保存地区	重要伝統的建造物群保存地区	平 9.10
国指定	石造・如意輪観音半伽像	彫刻 重文	昭 31.6	国指定	佐喜浜の経塚	史跡	昭 28.1
国指定	木造・阿弥陀如来座像	彫刻 重文	昭 31.6	国指定	虚空蔵菩薩坐像懸仏	工芸	平 11.4
国指定	板彫・真言八祖像	彫刻 重文	大 3.4	国指定	木造・十一面観音立像	彫刻	平 15.3
国指定	銅像観音菩薩立像	彫刻 重文	昭 32.2	国指定	金剛頂寺の仏画	絵画	平 17.4
国指定	漆塗台盤	工芸品	平 6.12	国指定	ヤッコソウ自生地	天然記念物	昭 27.10
国指定	銅鐘	工芸品	明 44.8	国指定	吉良川の「ボウラン」	天然記念物	昭 29.7
国指定	金銅密教法具	工芸品	昭 31.6	国指定	シットロト踊り	無形民俗	昭 38.7
国指定	金銅旅壇具	工芸品	昭 31.6	国指定	椎名の太刀踊り	無形民俗	昭 40.6
国指定	大毘盧遮那経・金剛頂経	典籍	昭 43.4	国指定	中川内の獅子舞	無形民俗	昭 44.8
国指定	室戸岬	名勝	昭 3.6	国指定	室戸市佐喜浜八幡宮古式行事	無形民俗	昭 59.3
国指定	室戸岬亜熱帯性樹林及び海岸植物群落	天然記念物	昭 3.3				

室戸市総合振興計画

将来像

室戸の自然や資源を活かした産業の振興と、
これまで育んできた歴史や文化を大切にし、
健康で心豊かに安心して暮らせるまち

将来像実現のための
7つの施策の大綱



●室戸市の沿革

東西に延びた四国山地が南下して野根山地となり、室戸三角半島の突端で海に没するところに、室戸岬の大岩礁が形成されています。ここは古くから格好の漁場で、岬に上がった人々はやがて漁業を中心として集団化し、共同生活を営むようになりました。

大化の改新以後、古代の律令体制が確立されていくなかで、この地方にも、室戸を中心に室津郷が置かれ、『続日本紀』『土佐日記』『和名抄』などの記述によると、7世紀には既に東土佐地方の中心地として栄えていました。17世紀に入って、関ヶ原の後に山内一豊が土佐に入国、山内家は寺領の保護、網捕鯨事業の振興、津呂・室津両港の開削などに尽力して東土佐を漁業と海上交通の要衝としました。

明治 22年4月に佐喜浜、津呂、室戸、吉良川、羽根の各村が誕生し、同43年には室戸が、次いで昭和3年には室戸岬、同 15年吉良川、同18年佐喜浜がそれぞれ町制を施行しました。その後、昭和28年の町村合併促進法に基づいて室戸・室戸岬・吉良川の各町と羽根村の4町村が合併協議会を設置、同 32年には新市町村建設促進法により佐喜浜町を加えた5町村の合併勧告を受け、同 34年3月1日にこれら5町村が合併して『室戸市』が誕生しました。

〈人口の推移〉

◆国勢調査人口、世帯

調査年	世帯数(戸)	男(人)	女(人)	総数(人)
平成 2年	8,240	11,050	12,258	23,308
平成 7年	8,155	10,107	11,323	21,430
平成12年	7,906	9,146	10,326	19,472
平成17年	7,574	8,239	9,251	17,490
平成22年	6,996	7,177	8,033	15,210

◆年齢別、男女別人口

年齢	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	100～	総数
	731	1,034	1,079	1,260	1,607	2,043	3,297	2,657	1,713	330	8	15,759

(平成24年12月31日現在(人))

〈財政指標の推移〉

◆健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成21年度	—	6.50	18.6	166.6
平成22年度	—	5.16	19.5	137.5
平成23年度	—	1.63	19.4	119.6

◆年度末市債残高

	市債残高
平成21年度	12,456,251
平成22年度	11,877,732
平成23年度	11,532,676

◆財務分析

	財政力指数(3年平均)	経常収支比率(%)	実質収支比率(%)	公債費負担比率(%)
平成21年度	0.24	101.0	0.4	22.1
平成22年度	0.23	95.5	3.3	22.2
平成23年度	0.21	94.3	7.4	21.7

〈道路〉

◆国道

	(平成24年1月1日現在)
総延長	47,500m
舗装道	47,500m
舗装率	100%

◆県道

	(平成24年1月1日現在)
総延長	19,373m
舗装道	19,373m
舗装率	100%

◆市道

	(平成25年1月1日現在)
総延長	215,800m
舗装道	183,700m
舗装率	85%

◆農道

	(平成24年1月1日現在)
総延長	85,625m
舗装道	56,511m
舗装率	66%

◆林道

	(平成24年4月1日現在)
総延長	91,097m
舗装道	23,200m
舗装率	25%

〈平成23年度決算状況〉

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引
一般会計	11,227,602	10,771,149	456,453
国民健康保険事業特別会計	2,975,586	3,618,145	△642,559
住宅新築資金等貸付事業特別会計(平成23年度で廃止)	180,769	180,769	0
介護認定審査会運営事業特別会計	5,104	5,104	0
介護保険事業特別会計	2,006,966	2,005,568	1,398
海洋深層水給水事業特別会計	42,726	42,726	0
障害程度区分認定審査会運営事業特別会計	894	894	0
後期高齢者医療事業特別会計	221,577	219,638	1,939